

今月の
テーマ

「新社会人」は最初が肝心!

新社会人の皆さんは、もう職場には慣れたでしょうか。新しい環境に馴染めず、出だしで躓き早期退職となるケースも少なくない。その場合、多くの理由が人間関係にあることは前回も述べたが、社会に出てからは、これまでも増してコミュニケーション能力が問われてくる。と言うか、コミュニケーション能力こそが大切と言っても良い。

近年、この能力が不足していると感じるのは私だけだろうか…。仕事上に限らず、人と人の関わりそのものが低下しているような気がしてならない。新しい環境の中で協調し生きていくためには、1から学ぶつもりで謙虚にかつ大胆な行動を提唱したい。そう「Stay Hungry. Stay Foolish.」で行きたいものだ。

さて、今回は新社会人が名実ともに自立するためのいくつかを考えてみようと思う。仕事そのものの関わり方も、友人・同僚・上司との関わり方も、自己のスキルアップ、経済感覚にしても、どれも最初が肝心なのである。最初の行動というのは、時として抜き差しならない、後に引けない事態にもなりかねない。一時の感情で振り上げた拳を下ろせないことも共通する。

また、経済的な部分に関しては、一旦身に着いた癖や感覚を元に戻すことは結構難しい。先輩社会人にとっては、多くの方が大なり小なりの心当たりがあるはずだ。あの時こうしておけば…!、あんなことを言わなければ…!、もっと勉強しておけば…!、こんな資格を取っておけば…!、もっとお金を貯めておけば…!何を隠そう、これは自己反省そのものなのである。後悔先に立たずとは良く言ったもので、いまさら取り戻せないことが殆どだ。

新社会人が仕事の知識や技術を習得することは勿論だが、それと同等いやそれ以上に社会人としての人との関わり、すなわち人間力を身につけてもらいたいものだ。

つぶやき
がんちゃん

生活知恵袋

生活に何かと役立つ連載コラム

せいかつちえぶくろ

Vol. 120

● 自立と自律

長い長い学生時代を経て、いよいよ社会人としての「自立」…。さて、一体自立とは何ぞや…?そして、自律とは…?学生から就職をし、親元から独立しその後は社会人…。一見、自立したように見えるが、自立はこのような形式的なものではなく、社会人になった後の行動如何によって決まるのである。30歳になっても40歳になっても、自立も自律も出ていない方が少なからずいるということだ。社会人=自立・自律、でないことは肝に銘じておかなければならない。そして、この両者は、同じように見えても、同じ意味ではない。それぞれ独立した言葉であり、当然にその意味にも違いがある。自立は普段何気に使っているが、自律を使う頻度はあまり多くないような気がするが、皆さんはどう感じているだろうか。社会人として認められるためには、自立も然ることながら、自律できていることが大きいかもしれない。であれば、これらの意味にどのような違いがあるかを、まずは理解することから始めなければならぬ。自立と自律、それぞれを辞書で見ると、

- 自立…: 他の助けや支配なしで、一人で物事をおこなうこと
- 自律…: 自分の立てた規範に従って自らのおこないをコントロールすること

とある。また、面倒くさい講釈が始まったとの声も聞こえてきそうだが、新社会人に止まらずに、社会全体が考え続けなければならぬ。

つぶやきがんちゃん



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP・サーティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

こちら

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間 / 9:30~18:30
(土・日・祝日は9:30~17:00)

● 定休日 / 水曜日
TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp



洋服の青山
詳細はホームページでもご覧いただけます。

らない問題だ。

● 自立とは

辞書には「他の助けや支配なしで、一人で物事をおこなうこと」とある。もっと平たく言うと、「人から言われなくても、自分の力で出来る」ということか……どちらかという、物理的な能力や経済力で、対外的な独立立ちと言えるかもしれない。こんな当たり前のことを出来るのが本当に自立なのか!? なんだか腑に落ちないし、面白くない。皆さんもそう思いませんか? こんなレベルであれば、おっ、この子供も一緒ではないか……。枠の中の自立なんか、そんなものは自立でも何でもなく、社会人として求められる最低限のことかもしれない。本来的な自立は未来を開拓するもつと輝いているものでなければならぬと思う。前号の話に戻ってしまうようだが「Stay Hungry, Stay Foolish.」「Boys, be ambitious.」これらの言葉の持つ意味が、やけに大きく、深く思えてくるのは私だけだろうか…。

● 自律とは

一方、自律を辞書などにより解釈すると「自分の立てた規範に従った考え行動が出来る、自らのおこないをコントロールする」ということだが、この時点で前者の自立とのニュアンスは違ってくる。「律」は「規範・ルール」という意味だが、これがなかなかどうして簡単ではない。周りにも迎合されず、自身の欲望をも律する強い意志が必要なのである。つまり、いかなる状況においても、自ら定める規範に従い、最大限の能力を発揮し、自ら考え、行動し道を切り開いていける人間のことで。既成概念にとられない独創的な発想などは、価値観や理念、さらには哲学などに裏打ちされた強固な力だ。自立が対外的な要素であるのに対し、自律は内的なものであるだけに、強い意志の上に立つものだ。またまた、面倒くさくなつた感はあるが、自律している人間とは、社会の中(職場、家庭、地域な

ど)で評価され、影響力のある成功者と言われる人間なのかもしれない。新社会人の皆さんにあつては、まずは自立し、自律した人間を目指してほしいものだ。

● プロフェッショナルを目指して

最近、コンビニや居酒屋で働くアルバイト店員の傍若無人な行いが問題となつた。プロとアマの違いを単純に判断すると、アマチュアは「職業化していない人」、「素人」、「未熟者」と解されるが、アルバイトとは言え、お金をもらつて仕事をする以上、プロであるべきだ。もし、与えられた以上の仕事を出来ないのであれば、自立・自律どころの話ではない。職業人として成功する人、組織から必要とされ評価される人間になるには、どうすれば良いのだろうか。

テレビがラジオか覚えてないが、何かに聞いていた番組の中で、誰かがプロ野球選手の一流とプロの違いについて話していた。一流は、期待されていることに対して応えられる人であり、プロは「期待以上の結果を出すこと」が出来る人々という表現をしていた。これが、私にとつても実に腑に落ちたのである。お金をもらつている以上、期待に応えるのは当たり前前の話で、期待以上の結果を出すことが出来る人間が、高い評価を得たり、リーダーになれるのかもしれない。プロとしての価値観、高い倫理観を持ち、自ら考え行動できる人間。いわゆる本来的に「自律」した人間こそがプロフェッショナルといえるのかもしれない。

● 経済観念の確立

近年の子どもたちは、比較的豊かになつた社会環境の中で、金銭的な苦勞を体感している人は少ないかもしれない。それ自体は、悪いことではないが、苦勞することなく何でも手に入る生活が長く続くと、金銭感覚が身に付かないまま社会人になつてしまいかねない。欲しいものと必要なものの区別、無駄なものや節約の判断は重要だ。貰つた給料をどう使うか?! 全ての使い道を自分で判断できる。

欲しいものを買う、目的のために貯金をする、自己啓発のために使うなど、さて如何に…。

その全部を消費に充ててしまふことがいい筈はないし、収支の計画を立てることを先ずは考えてほしい。将来収支の結果は、給料の額の高低が全てではないし、いかにコントロールするかだ。使い癖がついたり、コントロール不能に陥る前、そう、最初が肝心なのである。

● 社会人としての備え

これまでは、生活上に存在するリスクは全て保護者がカバーしていたが、社会人となればそうはいかない。存在するリスクを理解し、それに対する補償をしっかりと確保しなければならぬ。では、新社会人を取り巻くリスクにはどんなものがあるか考えてみよう。次に、その主なものを整理した。

- ①自動車運転上のリスク
(対人・対物、搭乗者、車両)
- ②働けなくなった場合のリスク
- ③病気やケガの治療費
- ④日常生活上の損害賠償(対人・対物)
- ⑤賃貸住宅への賠償

以上、5つの主なリスクを並べてみた。生活環境によって異なる場合もあるが、自分の生活防衛としていずれも重要なものだ。残りの余白の関係上、その手段に関しては割愛するが、家族や先輩の助言は勿論、フィナンシャルプランナーによる総合的なライフプランニングがベターだ。人任せではない、人の力を借りた自身での考察が重要となる。新社会人よ、何度も言わせてもらうが、最初が肝心だ…!

● 来月号は

この生活知恵袋も今回で120回に到達10年ひと昔というが、♪思えば遠くへ来たもんだ♪ここで、改めて生活知恵袋としての情報提供のあり方を考えてみようと思う。